

令和元年度 施政方針

6月7日に藤田 陽三市長は、令和元年第3回市議会定例会において、令和元年度施政方針を示しました。「施政方針」は、令和元年度の市政運営の基本的な方向を示すものです。今号ではその概要を掲載します。なお、全文はホームページをご確認ください。

●問い合わせ先 企画政策課



施政方針演説を行う藤田市長

はじめに

市においては、国の社会経済政策に焦点を合わせ、情報収集、積極的な活用を図りながら、市長就任以来の公約「行財政改革」、「産業・雇用をつくる」、「生活をまもる」、「共助社会づくり」、「未来をつくる」、この五つを政策の柱とした第五次総合計画を着実に進め、市長就任2期目の重点施策として取り組んできた「庁舎建設」、「高尾川・鷺田川の浸水対策」、「地域コミュニティによるまちづくり」、「地域公共交通網の形成」、「筑紫駅西口土地区画整理事業」について引き続きまい進し、完成と定着を図ります。

政策1 行財政改革

健全な行財政運営や人材の育成、市民サービスの向上などの取り組み

● 庁舎建設

庁舎周辺の利便性向上のため、踏切改良を進めるとともに、旧庁舎、上下水道庁舎などの跡地利用について費用対効果の高い活用策の検討を進めます。

● 行財政運営

市の最上位計画である第六次総合計画を策定します。

● 人材育成と組織の整備

働き方改革関連法を踏まえた組織づくり、人づくりを進めるためIC T(情報通信技術)を活用した業務の効率化や事務事業のスリム化などの働き方改革を推進していきます。

政策2 産業・雇用をつくる

商工業と農林業、観光の振興への取り組み

● 商工業の振興

▽住宅改修補助事業などを通して地

場経済対策に努めるとともに、空き店舗マップを活用し、出店支援や創業支援などを行い、まちなぎわいづくりに取り組みます。

▽企業誘致を積極的に検討し、さらなる雇用の創出に努めます。

● 農林業の振興

国、県の農業政策を注視し、多面的な機能を持つ農地の有効活用と担い手の育成などを進めます。また、森林環境譲与税を活用した森林の整備と保全を促進します。

● 観光の振興

天拝公園のあじさい園などの観光情報を積極的に発信します。また、天拝公園一帯の観光需要に応えるため、周辺の道路整備を進めます。



梅雨の時期に多くの人を訪れるあじさい園

政策3

生活をまもる

防災・減災対策、高齢者や障がい者への支援、健康づくり、人権尊重などの取り組み

●高尾川・鷺田川の浸水対策

昨年発進したシールドマシンによる地下河川築造工事の早期完了に向け、引き続き事業を促進します。

●防災・減災対策

防災に関する出前講座や災害時要配慮への支援などに取り組みとともに、近年の気象動向などを踏まえた新たなハザードマップを作成します。

●高齢者への支援

▽地域の生活支援サービスを集約した地域資源情報誌の作成などに取組みることにより、地域包括ケアシステムの構築に向けた動きを加速していきます。

▽消費生活相談や被害事例の啓発・教育などを通し、高齢者を狙った詐欺被害の予防に努めます。

●健康づくり

健康寿命の延伸を目指し、健康づくりポイント事業を新たに実施します。

●セーフティネットの充実

生活困窮状態からの自立を支援するため、家計相談支援事業を新たに実施します。

●障がい者、障がい児への支援

▽第3期障がい者福祉長期行動計画に基づく自立支援と社会参加のた

めへの支援に取り組みます。

▽発達障がい児家族等支援事業を新たに実施し、家庭における療育を促進します。

●人権尊重のまちづくり

同和問題の解決に向けた取り組み、すべての人の人権が等しく保障される地域社会の実現に向けての啓発と教育に努めます。

政策4

共助社会づくり

地域コミュニティの推進や市政情報発信などの取り組み

●地域コミュニティの推進

頻発する自然災害や急激に進む少子高齢化に備え、「地域防災」「地域福祉」を柱とした地域コミュニティによるまちづくりを進めます。

●市と市民、地域コミュニティとの

情報共有

▽広報紙やホームページ、SNSによる迅速な情報発信、積極的なマスコミへの情報提供など、各媒体の特性を生かした情報発信を行い、開かれた市政の実現を目指します。

▽「移動市長室」を継続し、充実を

図りながら、市民の皆さんの活動を直に拝見し、ご意見を伺います。

政策5

未来をつくる

子育て支援や学校教育の充実、市街地の整備などの取り組み

●子育て支援

▽待機児童解消のため、幼稚園で2歳児の受け入れを行う一時預かり事業や保育士の負担軽減のための補助職員の任用などを推進します。

▽幼児教育の無償化に向け、関係機関、法人との連携を図りながら、

適切な対応に努めます。

▽赤ちゃんホームヘルパー派遣事業や病児保育事業など、妊娠から出産、子育て期まで、切れ目のない支援を行うほか、次期子ども・子

育て支援事業計画の策定にも取り組みます。

●学校教育

▽知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を推進するため、教育施設の整備を考えていきます。

▽外国語教育などが来年度から必修科目となることを受け、ALT（外国人指導助手）の増員など、教育内容の検討を行います。

▽不登校児童生徒対策やいじめの予防について学校と各相談機関との連携を図ります。

●歴史・文化の継承と振興

国指定史跡である宝満山の保存活用

の検討を進めます。

●交通環境

本年1月から運行を開始したコミュニティバス「つくし号」、御笠自治会バスの周知に努め、運行体制の充実

●市街地の整備

「古代土塁」の整備・保存方針を踏まえながら、筑紫駅西口土地区画整理事業の推進を図ります。